

●令和4年度 実績報告

啓発・研修

- 1 令和4年4月2日～8日 発達障害啓発週間
内容：国連より定められた期間に発達障害の啓発を行う。
アプリコット堺の機関紹介、業務内容の紹介、
発達障害の特性理解啓発のポスター掲示、
支援グッズの展示、リーフレットとチラシの配架。
同期間に旧堺燈台ブルーライトアップイベント
場所：堺市役所・堺市美原区役所・堺市立健康福祉プラザ・イオンモール堺鉄砲町
- 2 令和4年4月1日～30日 発達障害啓発週間
ブックフェア「この1冊から始める発達障害への理解」の開催
内容：発達障害について出版されている本の紹介と紹介冊子の配布、
リーフレットとチラシの配架
場所：堺市立美原図書館
- 3 令和4年4月10日 発達障害啓発週間講演会
演題「Let's Talk! 発達障害の合理的配慮～当事者の視点から～」
内容：当事者の体験談
講師：さかいハッタツ友の会 代表 石橋 尋志氏
場所：オンライン
視聴台数：58台
- 4 令和4年4月19日 NPO法人ぴーす 不登校セミナー
内容：発達障害と不登校について
場所：NPO法人ぴーす
参加者：5名
- 5 令和4年4月27日 フェニーチェ劇場向けスタッフ研修
内容：発達障害の特性と違い～必要な支援の提供～
場所：フェニーチェ堺
参加者：40名
- 6 令和4年5月11日 新規配属者合同職員研修
内容：発達障害者支援センターの機能について
場所：堺市立健康福祉プラザ
参加者：40名

- 7 令和4年7月22日 西区自立支援協議会ヘルパー交流会
内容：発達障害の傾向と対策～当事者から聴く目からウロコの付き合いかた～
場所：西区役所, オンライン
参加者：15名
- 8 令和4年7月28日 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修
内容：発達障害者支援センターの機能について
場所：オンライン
参加者：20名
- 9 令和4年8月6日 オンライン講演会
内容：「発達障害 達成感を大切にしたい関わり～学習のサポートを中心に～」
講師：広島県廿日市市教育委員会 特別支援教育アドバイザー 山田充氏
視聴台数：102台
- 10 令和4年8月17日 社会福祉士向け研修
内容：発達障害の特徴とセンター機能について
場所：堺市立健康福祉プラザ
参加者：12名
- 11 令和4年9月24日 ワークステーションこうせん
内容：発達障害の基本的理解について
場所：ワークステーションこうせん菱木
参加者：20名
- 12 令和4年10月4日 教育委員会特別支援コーディネーター向け研修
内容：成人期の発達障害支援の現状と発達障害者支援センターの役割
場所：ソフィア堺
参加者：約40名
- 13 令和4年10月6日 堺高等学校教員向け研修
内容：発達障害についての基礎知識、就労支援について
場所：堺高等学校
参加者：40名
- 14 令和4年10月19日 大阪府母子・父子自立支援等研修
内容：発達障害の基本的理解
場所：大阪府母子・父子福祉センター
参加者：40名
- 15 令和4年10月22日 あいさかいサポーター研修
内容：発達障害と二次障害～支援が必要な家族への対応～
場所：健康福祉プラザ
参加者：約20名

- 16 令和4年11月10日 地域教育振興研修
内容：多様性と受容性について学ぼう 「発達障害」すべての人が輝ける社会
場所：大阪いずみ市民生活協同組合
参加者：80名
- 17 令和4年12月1日～27日
内容：自分らしく「はたらく」ために大切なこと～支援機関でのサポートについて～
方法：Zoom オンデマンド
視聴者：70名（登録者）
- 18 令和5年2月7日 大阪タクシー協会福祉タクシー研修
内容：発達障害の基本的理解と対応
場所：ホテルウィアーナ大阪
参加者：約20名
- 19 令和5年2月16日 発達障害専門医療機関ネットワーク研修
内容：発達障害児者への支援の実際～堺市における社会資源とサービス～
場所：オンライン
参加者：10名
- 20 令和5年2月17日 楽あけぼの研修
内容：強度行動障害を知ろう～成り立ちから成人期について～
場所：オンライン
参加者：約40名

嘱託医

面談 5 ケース

活用 3 回（家族向けプログラム 2 回、SV1 回）

グループプログラム

社会復帰準備プログラム

□目的：社会との関わりが課題と考えられる在宅生活利用者に、対人交流、外出機会を増やすことで生活の幅を広げる(単独参加が困難な場合は家族同伴も可能)

□実施回数：全12回のうち11回実施（令和4年4月～令和5年3月）

	日時	プログラム	講師	場所	人数
第1回	4月27日	バドミントン	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	6名
第2回	5月24日	トランプ、UNO	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	5名
第3回	6月23日	卓球	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	5名
第4回	7月24日	人生ゲーム	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	4名
第5回	8月31日	ボッチャ	スポーツセンター	健康福祉プラザ	4名
第6回	9月26日	トランプ、UNO	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	5名
第7回	11月2日	バドミントン	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	5名
第8回	12月20日	人生ゲーム	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	6名
第9回	1月26日	卓球	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	6名
第10回	2月14日	かるた、ナンジャモンジャ	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	4名
第11回	3月16日	バドミントン	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	9名

自己理解プログラム

□目的：発達障害の特性を整理し、日常生活における困りごとへの対処方法を参加者間でも話し合い、対処方法の幅を広げる

□実施回数：全3クールの内3クール実施（各1時間30分）

①5月12日、5月19日、5月26日、6月2日、6月9日

②11月7日、11月14日、11月21日、11月28日、12月5日

③2月15日、2月22日、3月1日、3月8日、3月15日

第1回	発達障害についてのお話
第2回	生活の中で困っていることとその工夫について
第3回	生活の中で困っていることとその工夫について
第4回	ストレスとストレス反応について
第5回	生活の中で困っていることとその工夫について

家族向け障害理解プログラム

□目的：発達障害に関する講義と振り返りを通し、家族の障害理解及び障害受容を促進し、家族の対応力向上に繋げる

□実施回数：全4回の内4回実施

□実施場所：堺市立健康福祉プラザ 会議室 401

□内容及び参加者：

	日時	内容	人数
第1回	9月27日	当センター嘱託医による講話 『発達障害の基礎的理解と家族対応の仕方』	2名
第2回	10月25日	当センタースタッフによる、第1回目の内容の振り返り	1名
第3回	1月23日	当センター嘱託医による講話 『発達障害の問題行動と二次障害について』	4名
第4回	2月28日	当センタースタッフによる、第3回目の内容の振り返り	1名

支援者向け連続勉強会

□目的：発達障害を専門としない支援者、市民窓口対応者などを対象。「仕事が続かない」「職場の人

間関係が難しい」「発達障害かもしれない」「発達障害だが働きたい」といった相談への対応・支援のために必要な基礎的知識及び対応について、事例やワークを通じて学ぶ

今年度は、相談支援事業所、放課後等デイサービス事業所、就労支援機関とそれぞれ対象を絞り、2～3回ずつ実施予定

□実施回数：7回

【第1回】連続勉強会（相談支援事業所編）

日時：令和4年5月18日

場所：オンライン

内容：発達障害の基本的理解

参加者：15名

【第2回】連続勉強会（相談支援事業所編）

日時：令和4年6月22日

場所：オンライン

内容：行動の背景と支援について考える

参加者：13名

【第3回】連続勉強会（放課後等デイサービス編）

日時：令和4年10月4日

場所：オンライン

内容：発達障害の基本的理解

参加者：34名

【第4回】連続勉強会（放課後等デイサービス編）

日時：令和4年11月1日

場所：オンライン

内容：困った行動の背景と対応を考える

参加者：34名

【第5回】連続勉強会（放課後等デイサービス編）

日時：令和4年12月6日

場所：オンライン

内容：ケースの全体像を理解する

参加者：34名

【第6回】連続勉強会（就労編）

日時：令和5年1月17日

場所：健康福祉プラザ 大研修室

内容：発達障害の基本的理解

参加者：14名

【第7回】連続勉強会（就労編）

日時：令和5年2月21日

場所：健康福祉プラザ 大研修室

内容：発達障害の就労支援

参加者：13名

令和4年度発達障害者支援センター連絡協議会

日時：令和4年7月15日(金)

土曜日相談について

利用状況：4月～3月、来所相談29件、電話相談22件

●令和5年度 中間報告

啓発・研修

- 1 令和5年4月2日～8日 発達障害啓発週間
内容：国連より定められた期間に発達障害の啓発を行う。
アプリコット堺の機関紹介、業務内容の紹介、
発達障害の特性理解啓発のポスター掲示、
支援グッズ紹介の展示、ブックフェア、リーフレットとチラシの配架。
同期間に旧堺燈台ブルーライトアップイベント
場所：堺市役所・西区役所・西図書館・堺市立健康福祉プラザ・イオンモール堺鉄砲町
- 2 令和5年4月1日～30日 発達障害啓発週間 ブックフェア
「正しく理解し、寄り添うために読もう」の開催
内容：発達障害について出版されている本の紹介と紹介冊子の配布、
リーフレットとチラシの配架
場所：堺市立西図書館
- 3 令和5年4月9日 発達障害啓発週間講演会
演題「発達障害 家族のこれまでとこれから～親やきょうだいの視点から～」
内容：親やきょうだいの体験談
講師：さかいハッタツ友の会 代表 石橋 尋志氏
場所：オンライン
視聴台数：55台
- 4 令和5年5月25日 フェニーチェ劇場スタッフ向け研修
内容：発達障害の特性と個々の違い～必要な支援の提供～
場所：フェニーチェ堺
参加者：20名
- 5 令和5年8月6日 市民向け公開講座
演題「『わたし』らしい発達障害との付き合い方」
内容：当事者のこれまでの人生や障害受容、今後について
場所：健康福祉プラザ 大研修室
参加者：75名
- 6 令和5年8月18日 S・Bケアサポート 職員向け研修
内容：発達障害の基本的理解
場所：S・Bケアサポート事業所
参加者：16名

- 7 令和5年8月22日 学校法人ヒラタ学園航空専門学校 教職員向け研修
 内容：発達障害の基本的理解と対応
 場所：ヒラタ学園航空専門学校
 参加者：25名
- 8 令和5年9月5日 医療刑務所
 内容：発達障害について（概要・接し方・支援状況）
 場所：大阪医療刑務所
 参加者：40名
- 9 令和5年9月11日 西区作業所ネットワーク及び指定相談事業所交流会合同研修
 内容：発達障害の基本的理解と対応
 場所：西区役所
 参加者：18名
- 10 令和5年9月21日 西区作業所ネットワーク及び指定相談事業所交流会合同研修
 内容：アプリコット堺との連携
 場所：西区役所
 参加者：15名

嘱託医

面談 2ケース

活用 3回（家族向けプログラム2回、SV1回）

グループプログラム

社会復帰準備プログラム

目的：社会との関わりが課題と考えられる在宅生活利用者に、対人交流、外出機会を増やすことで生活の幅を広げる(単独参加が困難な場合は家族同伴も可能)

実施回数：全12回の6回実施（令和5年4月～令和5年9月）

	日時	プログラム	講師	場所	人数
第1回目	4月19日	風船バレー	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	10名
第2回目	5月16日	UNO	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	5名
第3回目	6月21日	ポッチャ	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	8名
第4回目	7月24日	トランプ	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	4名
第5回目	8月22日	人生ゲーム	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	5名
第6回目	9月20日	バドミントン	当センタースタッフ	健康福祉プラザ	5名

自己理解プログラム

□目的：発達障害の特性を整理し、日常生活における困りごとへの対処方法を参加者間でも話し合い、対処方法の幅を広げる

□実施回数：全3クールの内、1クール実施（1時間30分）

①7月4日、7月11日、7月18日、7月25日、8月1日

第1回目	発達障害についてのお話
第2回目	生活の中で困っていることとその工夫について
第3回目	ストレスとストレス反応について
第4回目	生活の中で困っていることとその工夫について
第5回目	生活の中で困っていることとその工夫について

家族向け障害理解プログラム

□目的：発達障害に関する講義と振り返りを通し、家族の障害理解及び障害受容を促進し、家族の対応力向上に繋げる

□実施回数：2回実施

□実施場所：堺市立健康福祉プラザ 会議室 401

□内容及び参加者：

日時	内容	人数
6月27日	当センター嘱託医による講話 『発達障害の基礎的理解と対応について』	4人
9月26日	当センター嘱託医による講話 『発達障害の基本的理解と対応について』	3人

女子会

□目的：発達障害のある女性同士（スタッフも女性）で、日々の困りごとについて語り合う

□実施回数：2回実施

□実施場所：堺市立健康福祉プラザ 会議室 302

□参加者：①令和5年5月31日（水） 9名

②令和5年9月27日（水） 7名

支援者向け連続勉強会

□目的：発達障害を専門としない支援者、市民窓口対応者などを対象。「仕事が続かない」「職場の人間関係が難しい」「発達障害かもしれない」「発達障害だが働きたい」といった相談への対応・支援のために必要な基礎的知識及び対応について、事例やワークを通じて学ぶ今年度は、相談支援事業所、放課後等デイサービス事業所、就労支援機関とそれぞれ対象を絞り、2～3回ずつ実施予定

□実施回数：2回

【第1回】連続勉強会（相談支援事業所編）

日時：令和5年6月15日

場所：健康福祉プラザ 大研修室

内容：発達障害の基本的理解

参加者：16名

【第2回】連続勉強会（相談支援事業所編）

日時：令和5年7月20日

場所：健康福祉プラザ 大研修室

内容：行動の背景と支援について考える

参加者：13名

令和5年度発達障害者支援センター連絡協議会

日時：令和5年7月20日(木)

土曜日相談について

利用状況：4月～9月、来所相談18件、電話相談13件

今後の展望

- ・堺市における発達障害者支援センターの役割、あり方についての検討
- ・ペアレントトレーニングの実施
- ・就労ガイドブックの活用
- ・コンサルテーション機能の拡充
- ・各区基幹相談支援センターとの連携